

書部門 講評

本多 青龍

第17回春日部市美術展覧会、コロナ流行もどうやら落ち着き安心して活動がはじまりました。

書の部で一般応募18点となり、昨年一昨年より徐々に増加してきました。しかし第7回展の34点から比較すると減少と云うことでしょうか。コロナ禍がその誘因かと推察します。

書の応募で年々軸作品が多く目立ち18点中8点となり、初心者でも出品しやすくなったことは、うれしいことです。

ただ、軸作品で仮表装にテープで作品を貼るという作もあり、違反ではないので受けましたが、係としては想定外でした。

さて、市長賞の會田さん、強い線に白（余白）を活かした作品。議長賞の飯岡さん、しっかり隸書書込んでいる。共同通信社賞の水信さん、流れる息の長さ、リズム感良し。NHK賞の遠藤さん、素朴感あり、筆に救われたか。高校生の臨書作品、真剣な取組みに好感が持てる。